

From Ibigawa S A B O

この冬は暖冬と言われながら、時には厳しい寒さもありましたが、立春を過ぎ、日によっては早くも春の暖かい空気を感じるようになりました。越美山系砂防事務所では、今後のより良い工事施工に向けて、現場代理人等の方々との意見交換会を開催しました。

発注者と受注者で意見を交わす

事務所管内の砂防工事に関する様々な課題について「越美山系砂防事務所と現場代理人等との意見交換会」を2月3日に開催しました。参加者は事務所職員の他、当事務所の工事受注業社の現場代理人・監理技術者など20名以上の方々、また中部地方整備局河川部より筒井河川工事課長に出席頂きました。意見交換は、工事現場の施工円滑化・砂防工事の労働生産性向上や新技術の活用・担い手の確保等について行われました。受注者からは「建設業のイメージである3Kをどう払拭し、土木の魅力を伝えるか」「冬期工事は繁閑の平準化にはなるが、寒さや雪との闘いもあり、避けたい」等の多くの意見が出されました。



意見交換会の様子

急峻な地形で道路の建設 =大谷川=

揖斐川町坂内広瀬(さかうちひろせ)地先で工事を進める大谷川第3砂防堰堤道路工事は、砂防堰堤を建設するための工事用道路を建設しています。

今年度も急峻な地形でメタルロードの施工を進めてきました。次年度も引き続き工事用道路の施工を行い、砂防堰堤の早期着手を目指します。



道路工事が進む大谷川

土石流対策が進む =下河原谷=

平成26年8月に土石流の発生により国道157号が被災した、本巢市根尾大河原(おおがわら)地先で進めてきた下河原谷第1砂防堰堤は、今年度予定した工事が完了しました。次年度も引き続き工事を施工し、土砂災害軽減のため早期完成を目指します。



下河原谷第1砂防堰堤

現場技術者の声



(株)所組
監理技術者
増元 隆さん

本工事は、昨年度(H26.8)の台風11号による降雨の影響で土石流が発生した下河原谷において、砂防施設による免災を目的とした事業の一期目になります。地域住民から「豪雨の度に地形が変化する」と云われており、流域調査したところ不安定土砂が堆積する等、危険箇所が多数存在します。そのため、工事中において、降雨等による作業中止体制時は、流域調査による危険性の有無を確認後、工事を再開しました。土石流災害をゼロとし、無事工事が完成したことに対し、各関係者の皆様に感謝申し上げます。

現場技術者の声



(株)久保田工務店
現場代理人
森本 充吉さん

本工事は、揖斐郡揖斐川町坂内広瀬地先において、坂内川と大谷川の合流点より上流約4kmに、大谷川第3砂防堰堤を構築するための資材運搬道路工事です。

現場は大変急峻で狭少な地形で、建設機械と現場従事者とが混在しながら施工する、非常に危険性の高い現場でありました。その厳しい条件の中、現場従事者とのコミュニケーションをとりながら、一人ひとりが無事故・無災害の達成という目的意識を持ち、協力し合える現場環境づくりを目指し、無事完成することが出来ました。最後に、施工中における工事関係者の方々のご理解とご協力に感謝し、お礼を申し上げます。

越美山系も暖冬です

この冬は「暖冬」の言葉をよく耳にしますが、越美山系も例外ではありません。前年同時期では、揖斐川町坂内川上で進めている八草川山腹工事現場付近で2mの積雪がありました。今年は所々に白い山肌が見られる程度です。



八草川山腹工事現場(2月8日)
手前の農地で約15cmの積雪

※法人については文中敬称略



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: cbr-ibigawasabo@mlit.go.jp